

1. 科目名 (単位数)	心理学実験 (4 単位)	3. 科目番号	PSMP2142 EDPS2301
2. 授業担当教員	岡田 順介		
4. 授業形態	講義・実習(グループ活動)・演習(グループ活動)・ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	2年次以上 (心理統計法が履修済みであること)		
7. 講義概要	<p>心理学を研究するための基礎となる各手法をとり上げ、生理、記憶、学習、認知、人格、社会等、心理学の主要な分野の知識を身につけながら、それらの知識や考え方に基づく科学的レポートの書き方を学ぶ。実験等の体験を通して、心理学の理論を机上に終わらせることなく、身近なものとして体得することができる。</p> <p>なお本科目は認定心理士の資格科目であり、受講生は規定数以上の実験等に参加し、レポートを提出することが義務付けられている。</p>		
8. 学習目標	<p>1.実験等の演習を通して、心理学を含む社会科学全般に必要な不可欠である各種研究法の基礎理論や技法、基本姿勢を理解し、身につける。</p> <p>2.実験等の演習によって、実験や調査の計画立案の仕方を理解する。</p> <p>3.実験等の演習によって得られたデータについて、コンピュータを用いて統計処理することができるようになる。</p> <p>4.目的、方法、結果、考察から成る心理学研究レポートの記述の仕方を習得し、心理学的事象について、統計処理の結果を用いて、説明、解釈できるようになる。</p>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	<p>【中間レポート課題】 大ききの恒常性、ミュラーリヤー錯視、ストループ効果に関するレポートを提出する。</p> <p>【期末レポート課題】 視覚探索、鏡映描写およびマグニチュード推定法に関するレポートを提出する。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】坂口典弘・山本健太郎著『ステップアップ心理学シリーズ 心理学レポート・論文の書き方 演習課題から卒論まで』講談社、2017。</p> <p>小宮あすか・布井雅人『Excel で今すぐはじめる心理統計 簡単ツール HAD で基本を身につける』講談社、2018。</p> <p>【参考書】倉島保美著『論理が伝わる 世界標準の「書く技術」』講談社、2012。</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1.実験等の演習を通して、各種研究法の基礎理論や技法、基本姿勢を理解し身につけていること</p> <p>2.実験等の演習によって、実験や調査の計画立案の仕方を理解していること</p> <p>3.実験等の演習によって得られたデータについて、コンピュータを用いて統計処理できること</p> <p>4.目的、方法、結果、考察から成る標準的な心理学研究レポートの記述の仕方を習得していること</p> <p>○成績評価の評定方法</p> <p>学則で決められた単位取得の条件を満たしていること(3/4 以上の出席)を前提として、授業態度(授業およびグループ発表への積極的参加)30%、課題レポート 70%として算出した合計得点により成績評価を行う。</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>この授業は自らが主体的に考えること、さらに考えたことを適切に伝える訓練の場である。よって、積極的態で授業に参加することが期待される。授業への参加にあたっては、以下の事項を守って臨むこと。</p> <p>1 授業のための予習を必ずする (予習してくる教科書等の頁は、授業中に指示する)。</p> <p>2 レポートの提出期限を厳守する (提出期限が守られない場合は、正当な理由がない限り、受け付けない)。</p> <p>3 正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしない。欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず書面をもって教員に報告する。</p>		
13. オフィスアワー	第 1 回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (講義概要の説明) 実験 1-①: 大ききの恒常性: 実験に関する一般的知識	事前学習	知覚心理学全般に関して復習する
		事後学習	大ききの恒常性に関して復習する。
第 2 回	実験 1-②: 実験の計画と準備	事前学習	要因計画法に関して予習する。
		事後学習	本実験の実験計画を確認する。
第 3 回	実験 1-③: 実験の実施	事前学習	仮説・結果の予測をまとめる。
		事後学習	ここまですを総合的に復習する。
第 4 回	実験 1-④: データの分析	事前学習	HAD によるデータ分析と対応のある t 検定に関して予習する。
		事後学習	仮説・結果の予想と実際の結果を確認し、まとめておく。
第 5 回	実験 1-⑤: ディスカッション&レポート作成	事前学習	目的から考察までの流れを作成する。
		事後学習	レポートを完成させて提出する。
第 6 回	実験 2-①: ミュラーリヤー錯視について: 実験に関する一般的知識	事前学習	錯視に関して予習する。また、第 1 回のテーマに関して復習する。
		事後学習	ミュラーリヤー錯視に関して復習する。
第 7 回	実験 2-②: 実験の計画と準備	事前学習	要因計画法に関して予習する。
		事後学習	本実験の実験計画を確認する。
第 8 回	実験 2-③: 実験の実施	事前学習	仮説・結果の予測をまとめる。
		事後学習	ここまですを総合的にまとめる。

第9回	実験 2-④：データの分析	事前学習	HAD によるデータ分析と 1 要因の分散分析に関して予習する。
		事後学習	仮説・結果の予測と実際の結果を確認し、まとめておく。
第10回	実験 2-⑤：ディスカッション&レポート作成	事前学習	目的から考察までの流れを作成する。
		事後学習	レポートを完成させて提出する。
第11回	実験 3-①：ストループ効果：実験に関する一般的知識	事前学習	視覚的情報の処理過程に関して予習する。
		事後学習	ストループ効果に関して復習する。
第12回	実験 3-②：実験の計画と準備	事前学習	要因計画法に関して予習する。
		事後学習	本実験の実験計画を確認する。
第13回	実験 3-③：実験の実施	事前学習	仮説・結果の予測をまとめる。
		事後学習	ここままでを総合的にまとめる。
第14回	実験 3-④：データの分析	事前学習	HAD によるデータ分析と 1 要因の分散分析に関して予習する。
		事後学習	仮説・結果の予測と実際の結果を確認し、まとめておく。
第15回	実験 3-⑤：ディスカッション&レポート作成	事前学習	目的から考察までの流れを作成する。
		事後学習	レポートを完成させて提出する。
第16回	実験 4-①：視覚探索：実験に関する一般的知識	事前学習	視覚探索に関して予習する。また、第3回のテーマに関して復習する。
		事後学習	注意に関して復習する。
第17回	実験 4-②：実験の計画と準備	事前学習	要因計画法に関して予習する。
		事後学習	本実験の実験計画を確認する。
第18回	実験 4-③：実験の実施	事前学習	仮説・結果の予測をまとめる。
		事後学習	ここままでを総合的にまとめる。
第19回	実験 4-④：データの分析	事前学習	HAD によるデータ分析と 2 要因の分散分析に関して予習する。
		事後学習	仮説・結果の予測と実際の結果を確認し、まとめておく。
第20回	実験 4-⑤：ディスカッション&レポート作成	事前学習	目的から考察までの流れを作成する。
		事後学習	レポートを完成させて提出する。
第21回	実験 5-①：鏡映描写：実験に関する一般的知識	事前学習	学習心理学に関して予習する。
		事後学習	技能学習に関して復習する。
第22回	実験 5-②：実験の計画と準備	事前学習	要因計画法に関して予習する。
		事後学習	本実験の研究計画を確認する。
第23回	実験 5-③：実験の実施	事前学習	仮説・結果の予測をまとめる。
		事後学習	ここままでを総合的にまとめる。
第24回	実験 5-④：データの分析	事前学習	HAD によるデータ分析と対応のない t 検定に関して予習する。
		事後学習	仮説・結果の予測と実際の結果を確認し、まとめておく。
第25回	実験 5-⑤：ディスカッション&レポート作成	事前学習	目的から考察までの流れを作成する。
		事後学習	レポートを完成させて提出する。
第26回	実験 6-①：マグニチュード推定法：実験に関する一般的知識	事前学習	心理測定法に関して予習する。
		事後学習	大きさ・重さ錯覚に関して復習する。
第27回	実験 6-②：実験の計画と準備	事前学習	要因計画法に関して予習する。
		事後学習	ここままでを総合的にまとめる。
第28回	実験 6-③：実験の実施	事前学習	仮説・結果の予測をまとめる。
		事後学習	ここままでを総合的にまとめる。
第29回	実験 6-④：データの分析	事前学習	HAD によるデータ分析と対応のある t 検定に関して予習する。
		事後学習	目的・結果の予測と実際の結果を確認し、まとめておく。
第30回	実験 6-⑤：ディスカッション&レポート作成	事前学習	目的から考察までの流れを作成する。
		事後学習	レポートを完成させて提出する。